近畿・四国
◇ 大阪支社 ◇
大阪市中央区淡路町３－２－８
トーア紺第２ビル５Ｆ
☎06(6231)8036
FAX06(6231)8039

門田ガス

本社を移転新築

デザイン性高い　地域の拠点に　災対機能も兼備

門田ガス（本社・愛媛県砥部町、伊須雅裕社長）は2月12日、本社を移転新築した。カフェを連想させる社屋は砥部町とベースの造語「TOBE−S」と命名。白色と黒色のモノトーンで仕上げられ、木材を効果的に配した。SGP配管を扉のバーハンドルに採用するこだわりを見せた。低圧LPガス発電機とLPガス供給ボックスを設け、災害時の拠点としても機能する。

カフェを連想させる新社屋

新社屋は昨年4月に造成、今年1月末に竣工した。床面積は89・34平方メートル。1階を事務所、2階はテナントとして美容室の新店が入った。重信橋のたもとに立地。地域のコミュニティー空間としての活用を想定し、事務所内にシステムキッチンや床暖房などを導入した。ガス機器のほかコーヒーミルを用意し、伊須社長自らコーヒーを淹れ来客をもてなす。低圧LPガス発電機とLPガス供給ボックスを常設し、災害時の炊き出しや停電時対応も視野に入れた。

伊須社長は「建築途中に何ができるのか、問い合わせがあるほど反響があった。ガス販売店色を打ち消し、お客さまが入りやすい雰囲気に仕立てた。内装色は明るく、女性客の感性に訴える一方、男性客が好むデザインのガス機器を採用した。コロナ禍が収まれば、男性を対象にした料理教室などを企画したい」と述べた。

同社は移転を記念し3月1～31日の平日に限り、「ありがとうフェア」を開催する。新型コロナウイルス感染拡大を防止する観点から、自社顧客を対象にし、開催日を平日に限定した。ガス機器の多様性を示すため展示するガスこんろを厳選。ガスオーブン、ファンヒーター、床暖房のほか、「ホームランドリー化計画」と題してガス衣類乾燥機を実演する。多肉植物を来場記念品として用意した。

㊤扉のバーハンドルはSGP配管を用いた　㊦低圧LPガス発電機とLPガス供給ボックスを備え、災害時に対応する

創立70周年

HPに特設サイト

大丸エナウィン　記念ソングも公開

古野晃社長

大丸エナウィン（本社・大阪市、古野晃社長）は2月16日の創立70周年を機に自社ホームページに特設サイトを設けた。70年の歴史を紹介するとともに、記念動画と記念PRソングを公開した。

同社は1951年、4人の創業者により大丸工業として設立、溶接材料や一般高圧ガスの販売を始めた。LPガスとガス機器は54年から扱っている。73年の石油ショックで、「ぽっぽガス」を商標登録した。04年に宅配水「エフループ」事業を始め、総合力を発揮している。4人で創業した会社は社員500人、支店・営業所35カ所、グループ会社8社に成長した。

記念動画では古野社長が「当社の担当者は提案力の引き出しをたくさん持っているのが強みだ。当初4人で家族を合わせてやっていける会社だと思う」と語った。さらにリビング事業、アクア事業、医療・産業ガス事業の社員も登場し、仕事への取り組みとやりがい、顧客の役に立つ喜びを語った。

記念ソング「あなたの街の大丸エナウィン」は社員から募集したキーワードを集め歌詞を作成した。「エネルギーで未来を明るく」「ガス・水・電気　何でもおまかせ」「医療・産業プロフェッショナル」など音楽に乗せて社業を紹介した。

「ありがとうフェア」開催

社長自らコーヒーを淹れ来客をもてなす。低圧LPガス発電機とLPガス供給ボックスを常設し、災害時の炊き出しや停電時対応も視野に入れた。

伊須社長は「建築途中に何ができるのか、問い合わせがあるほど反響があった。ガス販売店色を打ち消し、お客さまが入りやすい雰囲気に仕立てた。内装色は明るく、女性客の感性に訴える一方、男性客が好むデザインのガス機器を採用した。コロナ禍が収まれば、男性を対象にした料理教室などを企画したい」と述べた。

同社は移転を記念し3月1～31日の平日に限り、「ありがとうフェア」を開催する。新型コロナウイルス感染拡大を防止する観点から、自社顧客を対象にし、開催日を平日に限定した。ガス機器の多様性を示すため展示するガスこんろを厳選。ガスオーブン、ファンヒーター、床暖房のほか、「ホームランドリー化計画」と題してガス衣類乾燥機を実演する。多肉植物を来場記念品として用意した。

坂出市にデリステ寄贈

マルキ会　四国地区会　地域防災を支援

米谷淳則副会長（中央）と目録を持つ綾宮市長（右から３人目）ら関係者

マルキ会四国地区会（藤村泰雄会長）は2月16日、坂出市役所を訪ね綾宏市長にデリバリーステーションを1台寄贈した。同地区会が炊き出しセットを寄贈するのは今回で20例目。寄贈式で米谷淳則副会長（四国岩谷産業社長）が綾市長に目録を贈呈し、綾市長から感謝状が贈られた。

式には米谷副会長と田中章博専任理事（同常務）、地区会員の古田勝氏（古田エネルギー社長）、吉田友理香氏（大信総業）らが出席し、市側は綾市長、鳥飼年幸市議会副議長、茨智仁市議らが応対した。

米谷副会長はあいさつで「2013年からの寄贈活動は今回で20カ所目。当社にとって坂出はLPガスと産業ガスを製造する一番大規模な工場を運営する親しみのある町だ。昨年はコロナ一色で、防災の議論になにくかったが、菅首相は施政方針演説で大規模な防災関係予算を計上するとした。東北の地震を見ても地震大国日本で、防災は永遠のテーマ。寄贈を機に、より近い関係性を築き有事にも連携を取り合いたい。デリバリーステーションは取り回しが良いので、イベントでも利用しながら使い慣れていただきたい」と述べた。

綾市長は礼を述べた後「昨年完成したこの市庁舎は免震構造で、庁舎内で下水を一週間分使用できる駐車場も広く避難所機能が高い。危機管理室を設置して一元化したほか防災ベンチなども備えている。安全で災害に強いLPガスはありがたい。私は四国のオートキャンプ協会で会長をしており岩谷産業の製品の良さも理解している。デリバリーステーションを日常使いできれば、いざという時もスムーズに活用できる」とあいさつした。

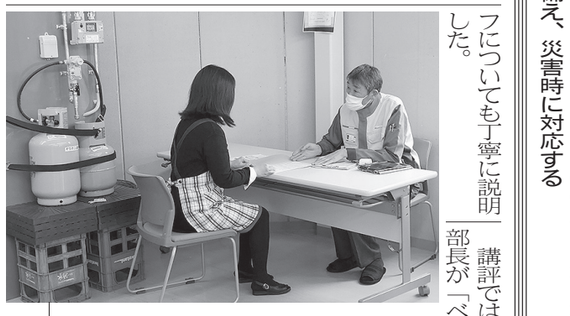
式後、田中専任理事は市長に、同時に100人分の炊飯・汁物調理ができる特徴などを説明。設置状態からコンパクトに収納できる利便性、キャスターによる可搬性を示し市関係者の関心を集めた。

地区会では同12日、宿毛市（中平富宏市長）にもデリステを寄贈。式には米谷副会長、田中専任理事、田中信宏理事（五光商事社長）、長尾美姫・長尾ガス社長、新谷久・同部長らが出席した。

協部　県支　高知　高知

市に災対備品寄贈

発電機・デリステ・マスク


顧客役に周知を行う西田桑次氏

高知県LPガス協会高知支部（山田洋介支部長）は2月16日、高知市（岡崎誠也市長）に低圧LPガス発電機（0・9キロボルアン）と岩谷産業の炊き出しセット「デリバリーステーション」、不織布マスク1万枚を寄贈した。

同支部は2008年度から毎年、検満切れガスメーター回収費用を資金に災害用備品を寄贈し、今回で13回目。今回はコロナ禍を踏まえて不織布マスクを加えた。

市からは感謝状を贈呈。寄贈した機器は九重小学校に設け、災害時に限らず訓練などで使用する。贈呈式にはLPガス業界から山田支部長、小栗健副支部長が出席。高知市と災害時の支援協定を締結した際、避難所でのLPガスによる電源確保をしていただいている。コロナ下の災害は、避難所で3密にならないよう苦慮すべきところ。マスクも有効に活用したい」と感謝を述べた。

山田支部長は寄贈について「高知市と災害時の支援協定を締結した際、避難所でのLPガスによる電源確保をしていただいている。コロナ下の災害は、避難所で3密にならないよう苦慮すべきところ。マスクも有効に活用したい」と感謝を述べた。

左から岡崎誠也市長、山田洋介支部長、小栗健副支部長

贈呈式後には歓談し、ＬＰガスの災害対応力を紹介した

式後の歓談では、コロナ下におけるLPガス業界の取り組みとして、点検を装った犯罪防止に努めていることを説明。岡崎市長からは、県業界がガス放出防止型高圧ホースの標準化や容器へのチェーン2本掛けに取り組む姿勢を評価した。市内の小学校給食施設では、積極的に軒先在庫の確保を図っていると強調した。

また、小栗副支部長は50キログラム容器のバルブプロテクターの有用性について紹介し、災害対策について説明した。

安心安全点検を確認

保安コン　最優秀賞に西田氏

近畿イワタニ
滋賀支店

イワタニ近畿（本社・大阪市、今中泰雅社長）は2月15日、東近江市の滋賀支店滋賀営業所で同支店の保安点検コンテストを開いた。4営業所から6人が参加、西田桑次氏（高島営業所）が最優秀賞に輝いた。高階清人支店長は「コロナ禍で支店別の大会となったが、コンテストの目的は例年と同じ保安技術の向上や伝承、業務の統一である。お客さまに安心・安全にガスを使っていただくには精度の高い点検が必要。趣旨を理解し落ち着いて挑んでほしい」と激励した。

既築物件を購入した顧客への供給開始時点検・調査、周知文書説明、14条書面交付について、持ち時間50分を目安に行い、保安技術と顧客接点を採点した。

西田氏は連絡先のナビダイヤルの説明や、ガス供給契約のクーリングオフについても丁寧に説明した。

講評では細昌規之保安部長が「ベテランが多く全体的によかった」と評価したうえで、「ボンベを容器、コックをガス栓と呼ぶことを徹底すべき。マナーは頑張れば満点が取れるのでしっかり頑張ってほしい」と強調した。

高階支店長は14条書面の説明の分かりやすさに改善点があると指摘。「初めて会うお客さまに安全・安心を届けるのが供給開始時点検の使命。点検内容を呼称することが安心感につながる。保安が確実でもクレームが来る点検は意味がないが、全員が丁寧に顧客対応していたので安心して張ってほした」と評価した。

大臣表彰

町の広報誌が紹介

中村ホームガス　徹底保安で安心を

有限会社中村ホームガス
高圧ガス保安経済産業大臣表彰を受賞
10月23日（金）、第57回高圧ガス保安全国大会で、有限会社中村ホームガスさんが優良販売事業者表彰で「高圧ガス保安経済産業大臣表彰」を受賞されました。
この賞は、高圧ガスの販売所の各段階の構造、設備および販売のそれぞれに関して、保安その他業務が特に優れていると認められたものです。有限会社中村ホームガスさんは地域のガス供給事業に多年に亘り尽力いただいています。おめでとうございます。
大臣表彰が広報誌「ひの」1月号で紹介された

中村ホームガス（本社・滋賀県日野町、中村幸太郎社長）が同町の広報誌「ひの」1月号に登場した。昨年受賞した高圧ガス保安経済大臣表彰の報告に堀江和博町長を訪問した写真が掲載された。同誌は月1回発行、8400世帯の全戸に配付され認知度が高い。

同社は過去何度も、消費者保安推進大会で経済産業省大臣官房技術総括・保安審議官表彰を受賞してきた。長年の保安への努力が評価され、昨年10月23日の高圧ガス保安全国大会で優良販売事業者として経済産業大臣表彰を受賞した。

中村社長はセンターを共同運営する販売店と相談しながら保安を推進してきた。「仲間からは『お前が大臣賞を受賞した以上、われわれも失敗できない。緊張感を持って仕事に取り組めるのでありがたい』と言われた」と話す。今後も互いを磨き合って保安確保や取引適正化に励む考えだ。

ITAMI WORLD
くらしをまるっと
伊丹産業株式会社
本社：兵庫県伊丹市中央5丁目5-10
ウェブサイト

ガス
アストモスガス　GYXIS　伊丹産業のでんき Powered by 新エネルギー開発
ガスエンジン発電所　太陽光発電所　売電事業　LPガス　LPガス車　駐車場　都市ガス　ガスと暮らし見守り ACU24

モバイル
SoftBank　Y! mobile

米穀
伊丹米　杵つきもち　ISO22000認証取得　モンドセレクション銀賞　白もち・海老もち　玄米もち・ゆずもち

石油
SS　ENEOS　7 ELEVEN　コンビニ　車検　EV 200V　コインランドリー

グループ企業
伊丹産業電設㈱　ガス・電気・水道・空調設備工事 業務用・家庭用
新エネルギー開発㈱　電力供給 業務用・家庭用
伊丹産業保険事務㈱　各種損害保険代理店
東京海上日動　損保ジャパン日本興亜　MS&AD 三井住友海上　共栄火災海上保険
伊丹産業カーズ㈱　正規ボルボディーラー
伊丹産業ビバレッジ㈱　カフェ事業